

令和 2 年度 事業報告

I 理事会報告

【開催状況】

	日 時	出席者			
		理事	監事	アドバイザー	事務局
第 1 回	< 法人法第 96 条によるみなし決議 > 決議日 令和 2 年 5 月 22 日(金)	—	—	—	
臨 時 1 回	< 法人法第 96 条によるみなし決議 > 決議日 令和 2 年 5 月 1 日(金)	—	—	—	
臨 時 2 回	< 法人法第 96 条によるみなし決議 > 決議日 令和 2 年 6 月 15 日(月)	—	—	—	
第 2 回	令和 2 年 7 月 28 日 (火) 14:00～16:00	20	3	1	2
第 3 回	令和 2 年 10 月 20 日 (火) 14:00～15:50	21	3	1	2
第 4 回	令和 2 年 12 月 15 日 (火) 14:00～16:05	19	3	1	2
第 5 回	令和 3 年 3 月 16 日 (火) 14:00～15:55	21	3	1	2

第 1 回 < 法人法第 96 条によるみなし決議 > ※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため

【協議事項】

- 1 議案第 1 号 令和元年度事業報告 (案)
- 2 議案第 2 号 補欠委員の選出について (案)
- 3 議案第 3 号 令和 3 年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出について (案)
- 4 議案第 4 号 入会金の額の変更について (案)
- 5 議案第 5 号 令和元年度決算書 (案)
- 6 議案第 6 号 令和 2 年度静岡県看護協会長表彰について

【報告事項】

- 1 令和 2 年度 静岡県委託事業の受託について
- 2 行政機関・関係団体の役員・委員の就任について
- 3 令和 2 年度会費納入状況

臨 時 1 回 < 法人法第 96 条によるみなし決議 > ※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため

【協議事項】

- 1 令和 2 年度定時総会の運営方法等の変更 (案)

臨 時 2 回 < 法人法第 96 条によるみなし決議 > ※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため

【協議事項】

- 1 令和 2 年度収支予算書 (修正案)

第 2 回

【協議事項】

- 1 令和 2 年度事業報告
総務部、教育研修部、事業部、ナースセンター
- 2 令和 3 年度定時総会の日時及び場所について
- 3 修学金貸与規程の一部改正 (案) について
- 4 静岡県看護協会訪問看護ステーション運営規程の一部改正 (案) について

【報告事項】

- 1 令和2年度会費納入状況
- 2 静岡県看護協会における新型コロナウイルスに関する対応について
- 3 役員損害賠償責任保険について

第3回

【協議事項】

- 1 令和2年度中間事業報告
 - (1) 会務庶務報告
 - (2) 教育研修部報告
 - (3) 事業部報告
 - (4) ナースセンター報告
- 2 令和2年度中間会計報告
- 3 修学金貸与規程の一部改正（案）について
- 4 委員会規則の一部改正（案）について

【報告事項】

- 1 代表理事・業務執行理事の職務の執行状況報告
- 2 関係機関・関係団体の役員・委員の就任について
- 3 会員入会の申請状況令和2年度会費納入状況

第4回

【協議事項】

- 1 令和3年度静岡県看護協会重点事項（案）
- 2 令和3年度教育計画（案）
- 3 令和2年度補正予算（案）

【報告事項】

- 1 令和2年度会費納入状況
- 2 令和2年度会議・研修会開催等の状況について
- 3 令和2年度自民党県連・厚生問題対策連絡協議会への要望事項
- 4 令和3年度日本看護協会長表彰候補者の推薦について
- 5 静岡県看護協会で開催する事業の中止に関する内規について
- 6 研修受講に関する内規について
- 7 令和3年度年間行事予定

第5回

【協議事項】

- 1 令和2年度3月補正予算（案）
- 2 令和3年度事業計画（案）
- 3 令和3年度収支予算書（案）
- 4 「職能委員会」委員選任（案）
- 5 「委員会」委員選任（案）
- 6 公益社団法人静岡県看護協会 規程の一部改正（案）
- 7 事務局長の採用（案）

【報告事項】

- 1 代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告
- 2 行政機関・関係団体の役員・委員の就任状況について
- 3 令和3年度 特別委員会委員について
- 4 令和2年度会費納入状況
- 5 令和3年度行事計画
- 6 新型コロナウイルス感染症に係る静岡県看護協会の活動

Ⅱ 常任理事会報告

【開催状況】

		出席者	
		理事	事務局
第1回	令和2年 4月14日 (火) 13:30～16:50	4	2
第2回	令和2年 5月12日 (火) 9:30～11:50	4	2
第3回	令和2年 6月 9日 (火) 9:30～11:50	6	5
第4回	令和2年 7月14日 (火) 9:30～12:20	6	2
第5回	令和2年 8月12日 (火) 9:30～12:20	6	2
第6回	令和2年 9月 8日 (火) 9:30～12:30	6	5
第7回	令和2年10月13日 (火) 9:30～11:55	6	2
第8回	令和2年11月10日 (火) 9:30～12:20	6	6
第9回	令和2年12月 8日 (火) 9:30～12:05	5	2
第10回	令和3年 1月14日 (木) 9:30～12:30	6	2
第11回	令和3年 2月 9日 (火) 9:30～11:05	6	5
第12回	令和3年 3月 9日 (火) 9:30～12:25	6	2

第1回

【協議事項】

- 1 令和2年度静岡県看護協会補欠役員の選出について
- 2 令和3年度日本看護協会代議員・予備代議員候補者について
- 3 令和2年度静岡県看護協会長表彰候補者について
- 4 令和2年度定時総会プログラム(案)
- 5 令和2年度静岡県受託事業について
- 6 第1回医療・福祉施設等看護代表者会議中止について
- 7 公益社団法人静岡県看護協会事業継続計画について
- 8 令和2年度第42回母子保健推奨賞受賞候補者の推薦について

【報告事項】

- 1 令和2年度会費納入状況報告
- 2 令和2年度日本看護協会代議員・予備代議員研修会の中止について
- 3 事業部報告
- 4 令和2年度ナースセンター事業計画について

第2回

【協議事項】

- 1 令和元年度事業報告(案)
- 2 令和元年度決算書(案)
- 3 行政機関・関係団体の役員・委員候補者の就任状況
- 4 第1回定時理事会(案)
- 5 「令和2年度静岡県知事表彰」「第7回昭和上條医療賞」候補者の推薦について

【報告事項】

- 1 令和2年度会費納入状況
- 2 事業部報告
- 3 監事監査について

第3回

【協議事項】

- 1 令和2年度定時総会運営会議について

- 2 令和2年度看看連携事業及び令和元年度報告会について
- 3 病院勤務医療従事者向け認知症対応力研修事業について
- 4 令和2年度地区支部活動について
- 5 新型コロナウイルス関係に関する実態調査の報告及び報告方法について
- 6 令和2年度知事功労別表彰（保健衛生功労）候補の推薦について

【報告事項】

- 1 令和2年度会費納入状況
- 2 静岡県看護協会における新型コロナに関する対応について
- 3 事業部報告
- 4 ナースセンター報告
- 5 役員損害賠償責任保険について
- 6 静岡県看護協会ホームページの改善に関する検討結果
- 7 サーマルカメラ調査結果

第4回

【協議事項】

- 1 令和2年度事業報告
総務部 教育研修部 事業部 ナースセンター
- 2 令和3年度定時総会の日時及び場所について
- 3 第2回定時理事会 議案について
- 4 静岡県看護協会における感染管理認定看護師の施設派遣について
- 5 令和2年度防災会議について
- 6 サーマルカメラ導入について
- 7 静岡県看護協会訪問看護ステーション運営規程の変更
- 8 令和2年度地区別支部活動 まちの保健室について
- 9 静岡県看護協会・訪問看護ステーション協議会連携会議について
- 10 静岡県看護協会規程集への特別委員会規定の掲載について
- 11 第49回医療功労賞・産科医療功労者厚生労働大臣表彰候補者の推薦について
- 12 修学貸与金貸付規程の改正について

【報告事項】

- 1 静岡県看護協会会費納入状況
- 2 事業部報告
- 3 新型コロナウイルス感染症対応マニュアルの改訂
- 4 その他
 - ・外調機に加湿用エレメント等の修繕について
 - ・「ふるさと応援寄附金等によるNPO等指定寄付事業」における寄附金受入サイト掲載団体の募集について

第5回

【協議事項】

- 1 修学金貸与規程の一部改正（案）について
- 2 静岡県看護協会委員会規則について
- 3 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業
協会立訪問看護ステーションの申請について
- 4 まちの保健室代替え事業について
- 5 新型コロナウイルスに関する実態調査の「看護しずおか」掲載について
- 6 第49回医療功労賞（海外部門）・秩父宮妃記念結核予防保健看護功労賞
候補者の推薦について
- 7 公益法人立入検査について

【報告事項】

- 1 令和2年度会費納入状況
- 2 職能委員会報告
- 3 教育研修部報告
- 4 事業部報告
- 5 ナースセンター報告

第6回

【協議事項】

- 1 令和3年度重点事項・予算編成について
- 2 修学金貸与規程の一部改正（案）について
- 3 新型コロナウイルス感染症に伴う実態調査
- 4 社会貢献者表彰・公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰候補者の推薦について

【報告事項】

- 1 令和2年度会費納入状況
- 2 新たな財政支援制度（地域医療介護総合確保基金）事業提案書について
- 3 職能委員会報告
- 4 教育研修部報告
- 5 事業部報告
- 6 ナースセンター報告

第7回

【協議事項】

- 1 令和2年度第1回委員長・地区支部長合同会議
・令和3年度重点事項（案）
・令和3年度事業計画立案及び予算について
- 2 令和2年度中間会計報告
- 3 修学金貸与規程の一部改正（案）について
- 4 令和3年度「看護の日・週間」企画・実行委員会委員の推薦（案）
- 5 まちの保健室Ⅰ型・Ⅱ型について

【報告事項】

- 1 令和2年度会費納入状況
- 2 代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告
- 3 職能委員会報告
- 4 令和2年度中間事業報告
(1)会務庶務報告
(2)教育研修部報告
(3)事業部報告
(4)ナースセンター報告
- 5 事業部報告

第8回

【協議事項】

- 1 第2回委員長・地区支部長合同会議（案）
- 2 地区支部長連絡会議（案）
- 3 静岡県看護協会・訪問看護ステーション協議会連携会議（案）
- 4 静岡県看護協会で開催する事業の中止に関する内視（案）について
- 5 研修受講に関する内視（案）について
・研修会受講要領について
- 6 令和3年度 日本看護協会名誉会員候補者の推薦について

- 7 令和3年度 日本看護協会会長表彰候補者の推薦について
- 8 令和3年度年間行事予定（案）
- 9 自衛消防訓練の実施について

【報告事項】

- 1 令和2年度年会費納入状況
- 2 職能委員会報告
- 3 事業部報告
- 4 ナースセンター報告

第9回

【協議事項】

- 1 令和3年度 教育計画（案）
- 2 第4回定時理事会（案）
- 3 第2回医療・福祉施設等看護代表者会議（案）
- 4 静岡県看護協会・看護連盟合同研修会（案）
- 5 令和3年度 日本看護協会会長表彰候補者の推薦について
- 6 令和3年度 日本看護協会名誉会員候補者の推薦について
- 7 静岡県看護協会・訪問看護ステーション協議会連携会議（案）
- 8 協会立訪問看護ステーション人事（案）
- 9 令和3年度 行事計画（案）

【報告事項】

- 1 令和2年度会費納入状況
- 2 職能委員会報告
- 3 事業部報告
- 4 ナースセンター報告

第10回

【協議事項】

- 1 医療・福祉施設等看護代表者会議（案）
- 2 令和2年度会費収入予算について
- 3 訪問看護師出向支援事業報告会について
- 4 新型コロナウイルス感染症自宅療養者等健康管理事業について

【報告事項】

- 1 令和2年度会費納入状況
- 2 職能委員会報告
- 3 教育研修部報告
- 4 事業部報告
- 5 ナースセンター報告

第11回

【協議事項】

- 1 令和2年度3月補正予算（案）
- 2 会計経理規則及び会計経理規則施行細則の一部改正（案）
- 3 令和3年度「看護の日・看護週間」記念行事開催について

【報告事項】

- 1 令和2年度会費納入状況
- 2 職能委員会報告
- 3 事業部報告
- 4 ナースセンター報告

第 12 回

【協議事項】

- 1 令和 2 年度 3 月補正予算（案）
- 2 令和 3 年度事業計画（案）
- 3 令和 3 年度当初収支予算書（案）
- 4 令和 3 年度「職能委員会」「委員会」委員候補者について
- 5 令和 3 年度「特別委員会」委員候補者について
- 6 公益社団法人静岡県看護協会 規程の一部改正（案）
- 7 「看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援事業」について
- 8 新型コロナウイルス感染症対策に伴う次年度の委託事業等について
- 9 令和 3 年度新規事業について（事業部）
- 10 令和 3 年度行政機関・関係団体役員・委員について
- 11 「第 73 回保健文化賞」「ヘルシーソサエティ賞」候補者推薦について
- 12 事務局長の採用（案）
- 13 コロナ禍にかかる支援金の受領について（財）地域創造基金さなぶり）
- 14 令和 3 年度行事計画（案）
- 15 その他

【報告事項】

- 1 令和 2 年度会費納入状況
- 2 代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告
- 3 職能委員会報告
- 4 教育研修部報告
- 5 事業部報告
- 6 ナースセンター報告
- 7 その他

Ⅲ 事業報告

* 下線は新規事業

○事業項目1 教育等看護の質の向上に関する事業

事業細目	内 容
(1)人材育成を促進するための継続教育	①看護実践能力の育成 3 研修(オンライン研修あり)計 105 名受講 (7 研修中止) ②組織的役割遂行能力の育成 13 研修(オンライン研修あり)計 723 名受講 (6 研修中止)
(2)資格認定教育	③自己教育の推進 1 研修 34 名受講 ④特別研修 3 研修 計 72 名受講 (1 研修中止)
(3)静岡県からの受託研修	①認定看護管理者教育 ・認定看護管理者教育課程ファーストレベル 23 日間 42 名修了 ・認定看護管理者教育課程セカンドレベル 32 日間 25 名修了 ・セカンドレベルフォローアップ研修(令和元年度修了者) 33 名受講 ①新人看護職員研修 ・「新人看護職員研修—多施設合同研修—(6 日間)一部オンライン」 31 名修了 ・「新人看護職員指導者研修 研修責任者研修(5 日間) 一部オンライン」 13 名修了 ・「新人看護職員指導者研修 教育担当者研修(4 日間) 一部オンライン」 34 名修了 ・「新人看護職員指導者研修 実地指導者研修(4 日間) 一部オンライン」 28 名修了 ②看護職員実習指導者等講習会 8 月 26 日～11 月 26 日(40 日間) 39 名修了 ③看護職員実習指導者等講習会—特定分野—(7 日間) 8 名修了 ④重症心身障害児(者) 対応看護従事者養成研修(1 日半) 23 名修了 ⑤看護教員継続研修 ・成長段階別研修(3 日間) 34 名修了 ・トピックス研修(1 日) オンライン 38 名修了 ⑥高齢者権利擁護等推進事業「看護実務者研修」(2 日間)(オンライン研修) 11 月 27 日(金) 28 日(土) 静岡県看護協会 46 名受講 ⑦看護の質向上促進 1 日・半日研修 377 名受講(1 日-142 名 半日-235 名) 1 日:伊豆 9 月 24 日(木)伊東市健康福祉センター 15 名受講 東部 10 月 9 日(金)三島商工会議所 41 名受講 中部 12 月 2 日(水)静岡県看護協会(オンライン研修) 38 名受講 西部 9 月 3 日(木)アクトシティ浜松 48 名受講 半日:伊豆 10 月 22 日(木)・11 月 18 日(水) 18 名受講 東部 9 月 12 日(土)・12 月 14 日(月) 52 名受講(一部オンライン研修) 中部 10 月 1 日(木)・11 月 7 日(土) 90 名受講 西部 10 月 17 日(土)・11 月 14 日(土) 75 名受講 研修科目:感染予防対策・医療安全対策・職業倫理・フィジカルアセスメント・災害看護 ⑧看護職員管理者の相互研修(日程変更・一部オンライン研修) 「暮らしをつなげる看護職員のための研修」(4 日間) 57 名受講 3 地区合同 10 月 28 日(水)・11 月 1 日(日) 静岡県看護協会 中部・西部 令和 3 年 1 月 8 日(金) 39 名受講(オンライン) 東部 令和 3 年 1 月 19 日(火) 18 名受講(オンライン) ⑨静岡県看護職員認知症対応力向上研修(オンライン) —認知症ケア体制構築推進者研修—(3 日間) 令和 3 年 2 月 3 日(水)・7 日(日)・10 日(水) 60 名受講

(4)看護研究	⑩病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修（10回開催）569名受講 （一部オンライン研修）
	<p>東部 12月16日（水）午前・午後開催 116名受講</p> <p>中部 9月13日（日）午前・午後開催 122名受講</p> <p>10月18日（日）午前・午後開催 114名受講</p> <p>令和3年1月13日（水）午前・午後開催 71名受講</p> <p>西部 11月13日（金）午前・午後開催 146名受講</p>
(5)学術研究振興支援	①静岡県看護協会静岡県看護学会 令和3年1月16日（土）オンライン 参加者176名
	<p>②地区支部による「看護実践報告会」等の開催</p> <p>①研究能力の育成</p> <p>・「看護研究の第一歩－研究テーマの絞込み－」（2会場）</p> <p>【東部】8月5日（水）25名修了、【中部】8月13日（木）46名修了</p> <p>・「看護研究の基礎－研究計画書にトライ－」（2会場）（3日間）</p> <p>【東部】8月17日（月）・18日（火）・9月10日（木） 16名修了</p> <p>【中部】8月17日（月）・18日（火）・9月26日（土） 23名修了</p> <p>・「効果的なプレゼンテーション技法」10月24日（土） 24名修了</p>

○事業項目2 看護に係る調査及び研究並びに看護制度の改善への提言に関する事業

事業細目	内容
(1)保健師・助産師・看護師業務に係る事業	<p>①保健師職能委員会 8回開催</p> <p>・保健師研修会 11月3日（火）52名参加</p> <p>・保健師交流会 1月30日（土）55名参加（オンライン）</p> <p>②助産師職能委員会 8回開催</p> <p>・助産師交流会 1月20日（水）51名参加（オンライン）</p> <p>③看護師職能委員会Ⅰ（病院領域） 9回開催</p> <p>・准看護師研修会（進学支援講習会） 2月20日（土）21名参加（オンライン）</p> <p>・中間管理者（副看護師長）交流会 12月12日（土）31名参加（オンライン）</p> <p>2月6日（土）26名参加（オンライン）</p> <p>・第9回静岡県看護学会 看護研究発表 1月16日（土）</p> <p>④看護師職能委員会Ⅱ（介護・福祉関係施設・在宅等領域） 9回開催</p> <p>・地区別看護職員研修交流会（2会場） 合計89名参加</p> <p>【西部】10月31日（土）27名参加 【中部】1月23日（土）62名参加（オンライン）</p>
(2)医療安全の推進	①医療安全情報の発信
(3)看護制度に関する事業	<p>②医療・看護安全相談 相談件数：36名 相談者：看護職13名、県民23名</p> <p>①准看護師の進学と資質向上への支援</p> <p>・看護師2年課程（通信制）に関する情報提供</p> <p>・准看護師研修会（再掲） ・修学金制度の周知</p> <p>②看護関連政策の充実</p> <p>・静岡県への要望 ・静岡県議会への要望 ・静岡県看護連盟との連携</p> <p>③特定行為研修受講者の増加に向けた広報普及活動</p>

○事業項目3 看護職の労働環境等の改善及び就業促進に関する事業

事業細目	内 容
(1)働き続けられる職場環境づくりの推進	<p>①看護職の労働条件・労働環境改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回労働環境に関する研修会 「大人の発達障害を理解する」 6月20日(土) 開催中止(令和3年度開催予定) ・第2回労働環境に関する研修会 「ハラスメント対応について学ぶ」 12月13日(日) 静岡県看護協会(オンライン研修) 34名受講 ・「ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)の実現に向けてー看護管理者の取り組みー」オンデマンド研修 11月6日(金) 静岡県看護協会 18名受講 ・看護しずおかへ「医療安全推進のための取り組み」として医療安全情報を5回掲載 ・ふじのくに医療勤務環境改善支援センターとの連携推進
(2)看護職の確保・定着及び就業支援の推進	<p>①ナースバンク事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護職の求職相談・医療機関等からの求人相談 ・求人・求職マッチング強化 ・看護職離職時等届出制度の推進と活用による就業支援(届出数869名) ・再就業移動相談:県内15カ所のハローワークとその他2カ所の移動相談(96回開催、相談者235名) ・ミニ就業相談会:県内14カ所のハローワーク等(参加施設157施設) ・ナースセンター・ハローワーク連携事業による再就業支援の実施(連携209名) ・静岡県看護職員確保対策連絡協議会の開催(2回) ・労働局・ハローワークとの連絡協議会(1回) <p>②潜在看護職員等再就業支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再就業準備講習会(7回:61名参加) ・介護施設等再就業研修(2回:12名参加) ・体験型再就業チャレンジ研修(1名参加) ・復職支援eラーニング研修(89名受講) ・地域でつくる協働開催型就業相談会:ナースのお仕事フェア (1会場で開催:来場者10名、参加施設5施設) ・看護技術演習:本所・東部支所・西部支所の3ヶ所で開催(103名参加) ・ハローワーク主催:ブランクナースのための技術講習(6会場、11名参加) ・県内外者へのUIターン促進 (移住フェア オンライン参加1回、県外看護大学等11校へ「ナースのお仕事ガイドブック」 2回送付 計570部) ・交流会開催:ナースの生き生きカフェ(2回:2名参加) <p>③「看護の心」普及・啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「看護の日・週間」記念事業:沼津ららぽーとにてイベント開催(来場者:352名) ・看護の出前授業:小・中・高等学校(45回開催、4,983名参加) ・看護職こころざし育成セミナー(2会場開催、229名参加)※参加できなかった生徒にセミナーを撮影したDVD配布(50校) ・看護学校等への進路支援として「進路ガイドブック:ナースへGO!進路編」作成 (高等学校115校4,332部配布) <p>④離職防止対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談機能の充実(悩み事相談:132件) ・退職者(個人)調査(回収数:224名) ・再就業者フォローアップ研修(1回:22名参加)2回目中止のためメッセージ発送

	<ul style="list-style-type: none"> ・セカンドキャリアセミナー（1回：35名参加） ・ナースセンター新人看護職員アンケート：病床数200床以上の病院を対象に実施 （回収数：施設長39名，新人看護職303名） ⑤ナースセンター連絡会議（6回） ⑥ナースセンター職員研修（2回：内1回は中央ナースセンター主催キャリアコンサルティング オンライン研修） ⑦看護職員確保のための諸会議への参画 ⑧広報活動 <ul style="list-style-type: none"> ・看護師等学校養成所訪問（11校：453名の看護学生に広報）※県担当者が同行し、県の看護人材確保対策についても説明 ・市町広報誌等への掲載 ・ナースセンターホームページとメールマガジンの活用 ・看護しずおか「ナースセンターだより」掲載（年6回） ・ナースセンターだよりプラス発行（年3回） ・「ナースのお仕事ガイドブック2021」3,000部発行（県内151施設の求人情報掲載） ・高校生向け広報誌「看護へGO!」2,000部発行 ・マスコミへの情報提供
--	---

○事業項目4 在宅ケアの推進及び支援に関する事業

事業細目	内容
(1) 訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所の運営及び地域支援	<ul style="list-style-type: none"> ①協会立訪問看護ステーション・指定居宅介護支援事業所の運営 訪問看護実績：訪問看護利用者延数 7,578名 訪問看護延件数 38,324件 居宅介護支援事業実績：居宅サービス計画数1,723件 介護予防ケア計画数36件 ②地域支援（新型コロナウイルス感染症感染対策のため活動中止または縮小） <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーション清水・指定居宅介護支援事業所訪問看護S/T清水 第6回介護者の会「さくらばサロン」は対面を避け、はがき送付、電話にて状況確認、家族フォロー実施 ・訪問看護ステーション大東・指定居宅介護支援事業所訪問看護S/T大東 南部大東ふくしあ健康相談、南部大須賀ふくしあ健康相談（6月まで） ・訪問看護ステーション掛川・指定居宅介護支援事業所訪問看護S/T掛川 西部ふくしあ出張健康相談、人生の最終段階について考える会
(2) 市、地域包括支援センター等との連携協働	<ul style="list-style-type: none"> ①行政、看護・介護、福祉等多職種と連携した総合的支援による訪問看護サービスの提供促進 ②地域包括支援センターと訪問看護ステーションとの合同会議、研修会、医療・介護関係者の事例検討会の開催
(3) 訪問看護サービスの質向上及び人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ①訪問看護師養成講習会（一部オンライン研修） 「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護人材養成基礎カリキュラム 9月4日（金）・10月24日（土）・11月11日（水）・令和3年1月28日（木） 静岡県看護協会 32名受講 集合研修4日間 実習2日間 ②看護職員管理者の相互研修 「暮らしをつなげる看護職員のための研修」（再掲） ③訪問看護における「特定行為に係る看護師の研修制度」活用促進 ④訪問看護出向研修支援事業（県受託） <ul style="list-style-type: none"> ・6病院・6訪問看護ステーションが参加

(4)訪問看護関係団体との連携	出向元施設名	出向先施設名	出向期間
	藤枝市立総合病院	訪問看護ステーションスポット	①8月17日～9月30日 ②10月1日～12月28日
	菊川市立総合病院	訪問看護ステーション大東	10月1日～12月31日
	静岡市立清水病院	訪問看護ステーション清水	10月1日～12月31日
	沼津市立病院	訪問看護ステーション千本	6月22日～9月22日
	聖隷沼津病院	ラポールあい訪問看護ST	11月1日～令和3年1月31日
	桜ヶ丘病院	訪問看護ステーションれん	12月1日～令和3年1月31日
	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護出向研修支援事業報告会及び意見交換会（オンライン） 令和3年3月5日（金）静岡県看護協会 24病院70名、14訪問看護ステーション16名 合計86名参加 ・訪問看護出向研修支援事業報告書作成関係機関へ配布 		
<ul style="list-style-type: none"> ①静岡県看護協会・静岡県訪問看護ステーション協議会連携会議 中止 ②日本訪問看護財団との連携 			

○事業項目5 地域住民の健康の保持増進及び福祉の向上に関する事業

事業細目	内 容
(1)地域看護活動の推進	<p>①8 地区支部の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちの保健室：Ⅰ型、Ⅱ型（イベント併設型）新型コロナウイルス感染症拡大のため、原則中止、一部感染対策及び相談者を特定し開催 ＊地域包括支援センターや病院窓口、老人福祉センターにて新型コロナウイルス感染症の中での日常生活の過ごし方「高齢者のみなさん、お元気ですか」リーフレットを配布 ・看護教室・マタニティスクールの開催 ・市民講演会の開催中止 ・いのちを大切に授業、出前授業（ナースセンターとの共催） ・看護の日・週間記念行事の開催 ・地域防災訓練への参加 ・地域行政・地域住民との連携事業 ・地区支部集会・看護実践報告会（オンライン）開催
(2)他機関、団体との連携活動	<p>②病院・施設との看看連携・協働等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援事業報告会 10月8日（木） あざれあ大ホール 46名参加 ・令和2年度看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援事業 2地域参加：「ゆうかり看看ネット」「やらまいか浜松」 キックオフの会 7月20日（月）開催
(3)ストレス緩和への支援	<ul style="list-style-type: none"> ①しずおか元気応援フェア 開催中止 ②メディメッセージ2020 開催中止 ③あざれあメッセ 静岡地区支部 オンライン開催のため参加せず <p>①「ケアする人のケア」 （新型コロナウイルス感染症対策のため活動中止または縮小） 各訪問看護ステーションにおける在宅でケアする人、看護・介護職員へのストレス緩和支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーション清水 第6回介護者の会「さくらばしサロン」（再掲）

○事業項目6 防災及び災害支援に関する事業

事業細目	内 容
(1)防災対策に関する事業	<p>①防災計画に沿った活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災会議を年1回開催 ・災害支援ナース必携マニュアルの改訂 ・衛星携帯電話の保守・活用 ・備蓄品の確保 <p>②静岡県総合防災訓練への参画 中止</p> <p>③地区支部における市町の防災会議への参画</p> <p>④災害看護フォーラムの開催 開催中止</p>
(2)災害時の看護支援活動の整備	<p>①災害支援ナース育成研修の実施</p> <p>前半【JNA収録DVD研修】災害支援ナースの第一歩～災害看護の基本的知識～</p> <p>12月21日(月)・22日(火) 58名参加</p> <p>後半【講義・演習】災害支援ナースの実際(2日間) 開催中止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害支援ナースの登録・管理 登録者353名 ・災害支援ナース登録者研修の実施「災害看護フォーラム」への参加 開催中止 <p>②「災害時支援ネットワークシステム」による都道府県看護協会災害支援ナース派遣調整合同訓練参加 12月8日(火)～10日(木)</p> <p>③災害支援ナース派遣に関するサポート体制の整備等</p> <p>④災害看護一般研修Ⅰ・Ⅱの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> Ⅰ 開催中止 Ⅱ 10月8日(木) 29名参加 <p>⑤行政・他団体と連携した医療救護活動体制の構築</p> <p>⑥災害支援ナース備品の整備</p> <p>⑦災害時看護職ボランティアの育成(企画)</p> <p>⑧新型コロナウイルス感染症実態調査</p> <p>⑨新型コロナウイルスに対応する感染管理認定看護師派遣事業</p> <p>⑩新型コロナウイルス感染症自宅療養者及び濃厚接触者健康観察事業(県受託)</p> <p>令和3年1年7日～3月31日</p> <p>⑪看護師養成所等における実習補完事業(県受託)</p> <p>令和2年11月2日～令和3年3月19日</p> <p>多職種連携ハイブリッドシミュレーターと分娩介助シミュレーターの2種を活用し、希望のあった県内の看護師養成校12校を対象に実習補完事業を実施</p> <p>⑫新型コロナウイルスワクチン接種副反応相談窓口事業(県受託)</p> <p>令和3年3月8日～31日までの17日間</p>
(3)日本災害看護学会	<p>体制の整備及び教育期間を経て3月15日から相談窓口開設 相談件数 延べ287件</p> <p>日本災害看護学会組織会員として協力</p>

○事業項目7 その他・本会の目的を達成するために必要な事業

・公益目的事業

事業細目	内 容
(1)広報	<p>①広報委員会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「看護しずおか」年6回発行 ・モニター会議 開催中止 ・看護関連情報及び看護協会事業活動の更新 <p>②県民及び他機関・他団体への広報強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスコミを通じた広報活動 ・看護協会パンフレットの作成・普及 <p>③看護の心普及・啓発等(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護の日・週間記念行事(再掲) ・看護の出前授業(再掲)
(2)施設の貸与	<p>看護に関する研修会等を行う関係団体への研修室・会議室の貸出</p>

IV 委員会報告

職能委員会

(I) 保健師職能委員会

委員長 土屋厚子

1 活動目標

- (1) 地域包括ケアシステム推進に向けた保健師の資質の向上
- (2) 職域間の保健師の連携強化
- (3) 会員拡大の推進

2 委員会開催 8回

3 活動内容

(1) 保健師研修会

日時 令和2年11月3日(火) 13:00~16:30 参加者 52名

内容 ①保健師職能委員会報告

②講演1「静岡県の新型コロナウイルス感染症 静岡県の現状と対策」

講師 後藤幹生(静岡県健康福祉部医療局疾病対策課長)

講演2「withコロナ時代の保健活動」

講師 尾島俊之(浜松医科大学健康社会医学講座 教授)

(2) 保健師交流会 (オンライン開催)

日時 令和3年1月30日(土) 13:30~15:00

場所 静岡県看護協会 第1研修室 参加者 55名

内容 講演「静岡県の新型コロナウイルス感染症の現状と対策」

講師 永井しづか(静岡県健康福祉部医療局地域医療課技監)

(3) 会員拡大

職能交流会、研修会等において、保健師職能委員会活動の紹介チラシを配布し、入会勧奨等を行い、会員獲得に努めている。

4 今後の課題

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえつつ、リモートなどを取り入れて新しい研修会の体制も取り入れて実施した。内容についても新型コロナウイルスの最新情報やワクチン接種等の多様な内容の研修会を開催し、保健師の質の向上に努めた。次年度は、引き続き、コロナウイルスに関する情報提供やコロナ時代の災害対策も含めた内容の研修会を開催し、withコロナ時代において、保健師が個別対応の力を高め、子どもや高齢者、障がい者も含め地域に責任を持った活動ができるための研修について検討していく。

5 委員 6名

(保) 深田裕子 佐原直美 鈴鹿和子 山下博美 大里美貴 野崎敦子

(担当理事) 土屋厚子

(II) 助産師職能委員会

委員長 西郷美智子

1 活動目標

全ての妊産褥婦・新生児及びすべてのライフステージの女性に助産師のケアを提共するために、専門的技術力を高め、より質の高いサービスの提供を支援する。

2 委員会開催 8回

3 活動内容

(1) 助産師交流会

テーマ 「静岡県におけるコロナ禍での産科医療の現状について」

日時 令和3年1月20日(水) 13:30~16:15

場所 静岡県看護協会 第1研修室 (オンライン開催)

参加者 51名

内容

講演「静岡県におけるコロナ禍での産科医療の現状について」

講師 西口富三(静岡県立こども病院 副院長兼周産期センター長)

講演「COVID-19 周産期病棟の対応」

講師 斎藤貴子(聖隷浜松病院 MFICU 課長 助産師)

4 今後の課題

今年度は新型コロナウイルス感染症の蔓延により、対面式での会議や研修会の実施が困難であった。そのような環境下においても、産科領域では手を抜くことなく対応しなくてはならない。産科領域での対応方法についてビデオを交えて情報共有した。分娩すること、育児することなど女性にとって嬉しいはずの出来事が、一人で苦悩することも多くなった現在、女性の一番身近な立場である助産師がますます力発揮できるよう委員会でも新しい情報等を提供し、次年度は母子のための地域包括ケアシステムを視野に置いた活動を展開していきたい。

5 委員6名

(助) 杉村千春 石井彰子 永井 梓 岡本沙衣子 鈴木早苗 花田澄美

(担当理事) 西郷美智子

(Ⅲ) 看護師職能委員会 I (病院領域)

委員長 松本志保子

1 活動目標

- (1) 変化する医療提供体制の中で重要な役割を担う副師長・主任が「やりがい」を創り出すコツを見つけることができるよう支援する。(認定看護管理者会との協働)
- (2) 「看護をつなぐ」三職能交流会を開催することで看護職同士の連携強化につなげる。
- (3) 准看護師のスキルアップにつながる研修を企画すると共に、進学支援の場を提供する。(静岡県ナースセンターとの協働)
- (4) これまで行ってきた准看護師進学支援研修参加者の進学実態調査結果から、これまでの評価と今後の企画運営の参考とする。

2 委員会開催 9回

3 活動内容

- (1) 副看護師長交流会(ビデオ会議ツール Zoom 使用)

日時 ① 令和2年12月12日(土) 9:45~12:30 参加者 31名

② 令和3年2月6日(土) 9:45~12:30 参加者 26名

場所 静岡県看護協会

内容 テーマ「元気になろう副看護師長!

~コロナ禍であなただどのように考え行動しましたか~」

講義 「危機的状況下におけるポジティブマネジメント」

講師 市瀬博基(東京外国語大学 非常勤講師 社会人類学者)

グループワーク

- (2) 准看護師研修会(ビデオ会議ツール Zoom 使用)

日時 令和3年2月20日(土) 9:30~12:30

場所 静岡県看護協会 参加者 21名 (浜松市医師会看護高等専修学校の学生含む)

内容 講義「小論文の書き方」

講師 金川治美(神戸常盤大学短期大学部看護学科)

奨学金制度について説明、ナースセンターからの説明

学校説明参加校

学校法人安西学園弥富看護学校

神戸常盤大学短期大学部看護学科通信制課程

東京衛生学園専門学校

静岡県立看護専門学校

(3) 第9回静岡県看護学会 演題発表

日時 令和3年1月16日(土) 10:00~16:00

場所 静岡県看護協会 第1研修室

演題名 准看護師進学支援研修参加者の進学支援実態調査

4 今後の課題

令和2年度はCOVID-19の影響により三職能交流会が開催できなかった。令和3年度はWithコロナの時代に看護職として「どう生き、支えるか」意見交換の場をつくりたい。また、准看護師進学実態調査結果を踏まえ、対象者のニーズに即した研修を企画することや、3年目を迎える「中間管理者交流会」はこれまでの総括を含めることを目的とする。これらの活動を通して得られる情報などから課題発見、意見集約、提言事項をまとめていきたい。

5 委員6名

(看) 河野由佳子 鈴木千里 杉山久美子 杉山智美 山本和枝 渡辺富美

(担当理事) 松本志保子

(IV) 看護師職能委員会Ⅱ (介護・福祉関係施設・在宅領域)

委員長 戸田美也子

1 活動目標

(1) その人らしく“生きるを支える”ために切れ目ない看看連携を強化する

(2) 施設・在宅(訪問看護・クリニック等)における看護職同士の更なる情報交換、連携を推進

2 委員会開催 9回

3 活動内容

(1) 地区別看護職員交流会【西部】

日時 令和2年10月31日(土) 13:00~16:30

場所 アクトシティ浜松 62 研修室

参加者 27名

内容 ・看護師としてのアセスメント力を磨こう
(高齢者によくある症状について学ぶ)

講師 松田真和(菊川家庭医療センター 家庭医)

(2) 地区別看護職員交流会【中部 オンライン研修】

日時 令和3年1月23日(土)

参加者 62名

内容 ・看取り期の体の変化と対応(ご遺体はケアの通院簿)

講師 鳥海房枝(NPO法人 メイアイヘルプユウ 理事・事務局長)

4 今後の課題

(1) 施設・在宅領域で働く看護師は、置かれている立場で方針や方法もさまざまであることから悩みも多種多様であり、直面しているそれらの悩みの解決につながる研修が必要。

(2) 今後もコロナ禍の収束が見通せない現状で、研修機会が少ない施設・在宅領域の看護師にも手軽に研修が受けられるオンライン研修を浸透させていきたい。

5 委員 6名

(看) 片岡由里 成岡桂子 鈴木京子 鈴木江利子 太田恵美 大村早苗

(担当理事) 戸田美也子

推薦委員会

委員長 太田優子

1 活動目標

- (1) 静岡県看護協会の理念の実現に向け、役員などの改選に伴う選挙の執行、日本看護協会総会代議員・予備代議員選出などにあたり、活動する
- (2) 推薦に対しては透明性及び公平性を確保し、活力ある組織づくりを目指す
- (3) 候補者の人権を尊重し、立候補の届け出を考慮したうえで、開かれた公正な推薦を行う

2 委員会開催 6回

3 活動内容

- (1) 公益社団法人日本看護協会代議員及び予備代議員の選出に関する推薦委員会内規と静岡県看護協会の定款・細則などの規定に基づく推薦委員会マニュアル、所掌範囲の確認
- (2) 2022年度日本看護協会通常総会代議員・予備代議員の推薦
- (3) 2021～2022年度役員など改選による、選挙候補者の推薦
- (4) 2021～2022年度職能委員の推薦

4 今後の課題

- (1) 日本看護協会通常総会代議員、予備代議員の応募に対して、看護協会事業に参画できる機会としての関心を高める企画と実践
- (2) 推薦業務に対して、理事会などとの情報共有と連携強化

5 委員 8名

- (保) 三輪真知子 平野幸子
(助) 諸星浩美 岩瀬和代
(看) 江口洋子 原弘子 増田伊佐世 太田優子
(担当理事) 柏崎順子

委員会

(I) 教育委員会

委員長 増田良江

1 活動目標

- (1) 研修の目的を理解し、受講者の目的達成のために支援する
- (2) 研修結果から受講者のニーズと企画意図を分析・評価する
- (3) 研修ニーズを調査し、臨床現場で看護職に求められる知識・技術・態度を教育計画に反映させる
- (4) 医療・看護の情勢や動向および前年度の研修評価を踏まえ、研修を企画する
- (5) 一般研修で得られたデータや資料を今後の教育計画に繋げる

2 委員会開催 7回

研修開催 7コース 10日間 (1コースは2日間の内1日実施、1日は令和3年度に開催予定)

3 活動内容

(1) 教育研修の企画・運営

研修 14コース中 4コースが新企画であった。COVID-19の感染拡大に伴い、研修の中止、開催日の変更、定員数の変更を余儀なくされ、7コース10日間の開催、1コースは開催日程を次年度へ持ち越すこととなった。研修開催への期待に応え、学びの機会を継続するため、教育委員、教育研修部で準備、運営を実施した。オンライン形式への対応、調整が必要な研修もあったが、研修生の意欲、講師の熱意による活気ある研修は、満足度の高い評価を得た。

ア 看護実践能力の育成

- ・臨床推論をOJTに活かして組織の看護力を高めよう (3日)

- ・医療や看護を受ける人の意向を尊重した意思決定支援ーあなたは支援者になっていますかー(1日)
- ・理解を深めよう！がん看護基礎編 (1日)

イ 組織的役割遂行能力の育成

- ・OJT トレーナー研修Ⅰー教える人としての私を育てるー (2日) 2日目次年度へ持越し
- ・最新の感染予防ー高齢者施設・在宅における感染予防対策の実際ー (1日)
- ・最新の感染予防ー感染予防リンクナースの役割ー (2日)
- ・組織づくりに活かす看護倫理 (1日)
- ・OJT トレーナー研修Ⅱー後輩育成に活かすコーチングスキルー (1日)

(2) 研修後の評価

- ・研修7コース10日間、応募者数403名、受講者253名、参加率93%
- ・COVID-19感染対策のため、研修コース数及び定員削減、日程変更、オンライン研修への変更を行ったが、アンケート結果より、内容の理解、満足度、活用度、参加目的の達成度の高評価が得られていた。

(3) 広報活動

- ・ホームページに研修の案内のチラシを掲載し、研修の企画意図、内容が伝わるようにした。
- ・「看護しずおか」の教育研修部だよりに研修記事を掲載し、研修への関心を高めるようにした。

4 今後の課題

- (1) 継続して会員のニーズ、社会の要請に応え、助産師、保健師、看護師、准看護師が参加する研修企画を行う。
- (2) 静岡県看護協会で開催する研修の企画意図を、アンケート結果や総合評価及び日本看護協会教育計画との整合性を確認しながら明確にしていく。
- (3) COVID-19感染対策に伴う研修環境の整備、支援に取り組む。

5 委員 8名

(保) 鈴木富士子

(看) 増田良江 下山美穂 三井景子 本家淳子 野澤里美 長坂信次郎 高橋円香

(担当理事) 櫻井郁子

(Ⅱ) 広報委員会

委員長 稲葉やす子

1 活動目標

会員及び一般県民への協会活動の周知と会員相互の情報交換を推進する。

2 委員会開催 10回

3 活動内容

(1) 「看護しずおか」を年間6回発行

令和2年4月、5月の委員会が新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となる。VOL.1は総会資料のみ掲載。VOL.2は定時総会規模の縮小等により、記事の縮小となった。特集を予定していた「オリンピックボランティアに参加して〈仮〉」は中止。また、日本母性衛生学会もオンライン開催となり、取材・記事の掲載を断念した。取材を決めた研修会も直前にオンラインによる開催となり、参加できた広報委員が記事を書き掲載した。

コロナ禍の医療・看護の状況を伝えるにあたり「新型コロナウイルス感染症に伴う実態調査の概要」をタイムリーに掲載することができた。

特集は新卒の保健師・助産師・看護師を対象に「看護職として働き始めて」や「頑張る看護職夫婦」「年男・年女」などを掲載した。身近な仲間が登場することで「看護しずおか」を読んで貰うことができた。シリーズ「人の一生を支える看護」は看護職の働く場の多様性を伝えることができ、好評であった。

令和2年度は「看護しずおか」の発行が危ぶまれたが、看護協会事務局や会員の協力によりVOL.6まで発行できたことに感謝したい。今後も広報委員一丸となって「看護しずおか」の充実に努めて

いきたい。

(2) モニター活動

各職能委員会から推薦されたモニター11人から「看護しずおか」各号に対する感想や意見をアンケート形式で聴取した。今年度はキャンセルのあった誌面に急遽、モニターの感想を掲載した。モニター会議は中止した。

4 今後の課題

協会活動や看護・医療の情報提供の充実を図ると共に、幅広い方々の意見を聞き、興味深く読みやすい紙面作りに努めていきたい。

5 委員 7名

(保) 稲葉やす子 杉山眞澄

(助) 松前勝美 齋藤佐和子

(看) 村上香奈子 三田雅也 萩山裕美子

(担当理事) 柏崎順子

(Ⅲ) 災害看護対策委員会

委員長 勝間田敏宏

1 活動目標

(1) 災害対策に関する意識の啓発を図り災害支援に関する事業を推進する。

ア 災害支援ナースの育成事業の実施及び構築をする。

イ 地区支部と協力し、恒常的に地域住民に対し減災の啓発および支援を推進する。

ウ 会員に対して、災害に関する意識の啓発を図る。

2 委員会開催 8回

3 活動内容

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、400人規模で密集となる研修や、演習が多い研修は中止となった。

(1) 災害支援ナース登録者研修

日時 令和2年8月29日(木)中止

(2) 災害看護一般研修Ⅰ

日時 令和2年5月24日(金)中止

(3) 災害支援ナース育成研修

【前半】災害支援ナースの第一歩(JNA収録DVD研修)

日時 令和2年12月21日(月)22日(火) 参加者 58名

【後半】災害支援ナースの実際

日時 令和3年1月26日(日)～28日(火)中止

(4) 災害看護一般研修Ⅱ

日時 令和2年10月8日(木)

場所 静岡県看護協会第1研修室

参加者 29名

内容 ロジスティックスを意識した看護

講師 勝間田敏宏(静岡県看護協会 災害看護対策委員長)

4 今後の課題

(1) より多くの会員が参加できる研修の場と魅力的な研修企画

(2) コロナ禍による研修の在り方の検討

(3) 災害支援ナースのモチベーションの維持に貢献できる研修の企画

(4) 災害看護対策委員として地域の貢献方法検討

(5) 非協会員に対して災害看護教育の在り方の検討

5 委員 6名

(看) 勝間田敏宏 池谷綾子 野邊あゆみ 加茂知美 牧田美佳 小梁はるみ
(担当理事) 柏崎順子

(IV) 働き続けられる職場づくり推進委員会

委員長 市川幸子

1 活動目標

看護職が健康で安全・安心して働き続けられるために、労働環境の整備と医療安全を中心に研修などを通じて啓発普及活動を推進する。

2 委員会開催 9回

3 活動内容

新型コロナウイルス感染症拡大の影響(緊急事態宣言発令)にて、委員会は7月までの期間中止となった。また、年度前半に予定していた研修会も中止となり、今年度は以下の研修会のみとなった。

(1) 第1回労働環境に関する研修会

テーマ ハラスメント対応について学ぶ

日時 令和2年12月13日(日) 13:00~16:30

場所 静岡県看護協会 第1研修室 (オンライン研修)

本来の研修日は、10月24日(土)の予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、9月1日現在の、静岡県警戒レベルIVであったことから、講師が「本県への訪問を回避」の大阪であることを考慮し、急遽オンライン研修に変更することとなった。

参加者 34名(看護管理者)

講師 三木明子(関西医科大学看護学部・看護学研究科)

目的 看護職が、暴力を含んだハラスメントについて正しい知識を学ぶことで、適切な対応ができる。

研修内容 ・ハラスメントを取り巻く社会の動きと用語の整理
・パワーハラスメントについての被害実態と管理者の役割と対策
・暴力・ハラスメントの定義と種類及び具体的事例と対策

(2) 広報活動

目的 「看護しずおか」に医療安全情報を掲載(5回)することにより、医療安全の推進を図る。
掲載内容は、「公益社団法人 日本医療機能評価機構 医療安全情報」が広く周知されるように、委員会で重要と判断した内容を主に抜粋した。

4 今後の課題

(1) 看護職が健康で安全・安心して働き続けられるための事業を推進する。

ア 会員のニーズに即した研修会を開催する。

イ 各職場の取り組み事例などの紹介を行う。

(2) ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)を目指して、ガイドラインを参考に啓発活動事業を推進する。

5 委員 6名

(助) 西岡恵美

(看) 市川幸子 渥美直美 上田理恵子 松井千賀子 米津苗子

(担当理事) 松井順子

(V) 学術研究推進委員会

委員長 爪田久美子

1 活動目的

本委員会は、静岡県看護協会の教育目的・目標に基づき、看護の質の向上を図ることにより人々の健康と福祉に貢献するため、看護研究の推進と研修事業の充実を図ることを目的としている。

2 委員会開催 6回

3 活動内容

(1) 第9回 静岡県看護学会の開催

日時 令和3年1月16日(土) 9時50分～16時

場所 静岡県看護協会 オンライン

参加者 事前申し込み 176名

テーマ 今激動の時にこそ しなやかに看護の本質を見つめ直す

発表演題 口演 12題

基調講演 新型コロナの最新情報と感染対策

講師 矢野 邦夫(浜松医療センター院長補佐)

座長 爪田 久美子(聖隷浜松病院)

特別企画 コロナ禍での看護の経験を語る

演者 櫻井 真理子(裾野赤十字病院)

青木 春美(訪問看護ステーション大東)

佐藤 直美(浜松医科大学医学部看護学科)

松井 順子(静岡県看護協会)

座長 松井 泰子(静岡県看護協会)

(2) 「看護研究の第一歩」 東部・中部地区で開催 各1日(参加者合計 71名)

ア 令和2年8月5日 順天堂大学 三島キャンパス 25名

講師 小川典子(順天堂大学保健看護学部)

イ 令和2年8月13日 ビネスト 46名 オンライン

講師 白尾久美子(日本福祉大学)

(3) 「看護研究の基礎」 東部・中部地区で開催 各3日間(参加者計 39名)

ア 令和2年8月17日、18日、9月10日 順天堂大学 三島キャンパス 16名

講師 近藤ふさえ 岩清水伴美 酒井太一(順天堂大学保健看護学部)

イ 令和2年8月17日、18日、9月26日 静岡県看護協会 23名 オンライン

講師 白尾久美子(日本福祉大学)

(4) 「効果的なプレゼンテーション技法」(参加者計 24名)

日時 令和2年10月24日(土)

場所 静岡県看護協会

講師 坂尾英明(株式会社メディカルクリエイト)

(5) 本年度の静岡県看護協会看護研究費助成金交付事業への申請はなかった。

4 今後の課題

(1) 学会の内容の質の向上と充実を図る。

ア 査読者から、研究者自身が研究課題に向けてより質の高い研究が創出できるよう査読時には査読者と数回のコメントのやりとりを行う。

イ 看護研究に関する倫理的配慮とその記載方法を徹底する。

ウ 演題数の増加を図る

・本委員会の研修を学会発表に繋がられるように支援する。(研修後アンケートを活用し、支援方法の検討)

・機関紙「看護しずおか」、県看護協会ホームページへの掲載、県看護協会主催の研修前にスライド映写を実施するなど看護学会を広範囲に広報する。

エ 参加者の増加を図る。

- ・学会テーマやシンポジウムなどで、臨床現場の状況に則したテーマを選択し、企画する。
 - ・積極的に、広範囲に広報する。
- オ 学会参加者に満足いただけるように、ホスピタリティーのある対応を心がける。
- カ 口演発表と、示説の両方に参加できるようにプログラムを企画する。
- (2) 研究に繋がる系統的研修を実施する。
- ・「看護研究の第一歩」、「看護研究の基礎」、「効果的なプレゼンテーション」の3つの研修が看護研究に繋がるような、系統的な研修となるように計画する。
- (3) 看護実践の中にある研究動機を大切にして、臨床での研究活動が活性化されるよう、看護研究費助成金交付事業について広報する。
- 5 委員 6名
- (助) 爪田久美子
- (看) 小野田弓恵 片山はるみ 横井志保 加藤京里 遠藤和代
- (担当理事) 櫻井郁子

特別委員会

(I) 認定看護管理者教育運営委員会

委員長 津島準子

1 活動目的

認定看護管理者教育課程の運営のための検討を行い、教育機関として質の維持・向上を図る。

2 活動目標

- (1) 様々な受講ニーズを踏まえ、各教育課程の開講の企画・運営について検討する。
- (2) ファーストレベル・セカンドレベル・サードレベル教育課程を開講する。
- (3) 静岡県内の認定看護管理者の活動を支援する。

3 活動内容

(1) 委員会

- ア ファーストレベル・セカンドレベルの運営と評価
- イ セカンドレベルフォローアップ実践報告の運営と評価
- ウ 令和2年度の教育課程開催要綱及びカリキュラムの検討（ファースト・セカンド）
- エ 令和2年度ファーストレベル教育課程の応募者数の見直しと選考方法の検討

(2) 教育課程の運営

ア ファーストレベル教育課程

- ・開講期間 令和2年8月1日～9月24日・11月14日 126時間
(教科目108時間と特別講義18時間) (23日間)
- ・定員120名 応募者183名 受講者120名 修了者42名 (1名は出席要件不足で不合格)
※当初は、8月が45名、1月を75名の2回の開講を予定したが、COVID-19の発生により8月開講のみの45名とした。しかし、施設の都合で2名が受講できず43名の受講者となった。
1月開講75名については、本年度開講できなかったため、令和3年の受講の救済措置とした。
- ・県内認定看護管理者4名に講師を依頼
- ・本年度は日本看護協会の要請で書類審査のみとしたが、次年度から小論文も含めた選考とする。

イ セカンドレベル教育課程

- ・開講期間 令和2年9月14日～令和2年12月23日 180時間 (33日間)
- ・定員25名 応募者44名 受講者25名 修了者25名
COVID-19により、定員を研修室の50%となったため30名を25名とした。
- ・他施設実習がCOVID-19により中止となったため演習と課題レポートの提出とした。

- ・ 県内認定看護管理者 11 名に講師とコーディネーターを依頼
ウ セカンドレベルフォローアップ研修
- ・ 開催日 令和 2 年 8 月 6 日 6 時間（1 日間）
- ・ 対象 令和元年度セカンドレベル修了生 33 名が参加

(3) 静岡県内の認定看護管理者の活動の支援

- ・ 静岡県内の認定看護管理者を講師として登用する

4 今後の課題

- (1) 今年度は COVID-19 により一部オンラインによる講義を実施した。受講者は集合とし、県外講師は遠隔で開催した。感染対策に重点をおきつつ、効果的な授業が展開できるように、特にグループワークでの情報共有や質疑応答を丁寧に行った。今回は受講者が集合という形であったので運営で大きな問題は発生しなかった。感染が蔓延している状況下では、講師も受講者も遠隔講義が可能であれば、長期研修を中断することなく安全、安心して運営できるツールだと考える。
- (2) 認定看護管理者教育課程への、受講者の多様化に応じた様々な受講ニーズへの対応が必要である。

5 委員 6 名

- (看) 津島準子 櫻井真理子 小川典子 平野一美 鈴木美恵子 松井泰子
(担当理事) 櫻井郁子

(II) 看護の日・週間企画実行委員会

委員長 石井広美

1 「看護の日」事業目的

- (1) 事業目的：「看護の心」の普及啓発を通じて、県民一人ひとりが看護について関心を持ち、理解を深めることで、幸せな長寿社会づくりを目指す。
- (2) 新型コロナウイルス感染の流行は市民生活や医療の現場に大きな影響をもたらした。ナイチンゲール生誕 200 年にあたる今、感染対策（衛生環境の整備）をふまえ、未来に向け「看護の心」を伝えていく機会とする。

2 委員会開催 10 回

3 活動内容

テーマ 「看護の心をみんなの心に」

サブテーマ 「看護には健康と未来を変える力がある」

「看護の心」を大切に、命と暮らし、そして尊厳を守り支える未来につなげていく。

新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、5 月開催を 11 月に延期し、感染対策に十分配慮したイベントを実施する。

日 時 令和 2 年 11 月 14 日（土）10：00～15：00

場 所 ららぽーと沼津 1F ひかりの広場

担当者 実行委員 7 名、ナースセンター 5 名、県担当者 1 名

来場者 352 名

内 容

(1) 展示

- ・ フローレンスナイチンゲール生誕 200 年（功績、年譜）
- ・ 看護の歴史（昭和から平成の看護師）
- ・ 県東部地域で働いている看護職紹介

(2) 動画

- ・ 日本看護協会編：キラリ看護の仕事、元気の歌など

(3) 医療現場へのエール（応援メッセージ）

(4) 看護職の就業・進路相談

4 まとめ及び今後の課題

アンケート結果（回収 181 枚、回収率 51.4%）：来場者の年齢層は 30 歳代から 50 歳代が多かったが、20 歳以下 17.6%と様々な年齢の来場があった。居住地は 90%が沼津市を含む県東部地区であった。関心が高かったコーナーは「県東部地域で働いている看護職紹介」であった。笑顔で働く看護師やコロナ対策・対応の写真などに興味が集まっていた。「イベントを通して看護職への理解は深まったか」の問いでは、病院の状況や看護師の仕事がわかったという回答が多かった。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5 月を 11 月に延期し規模を縮小して開催した。3 密回避とマスク・手指消毒等の感染対策を実施し、展示中心の内容で行った。応援メッセージでは、現場への感謝、応援や看護職の健康を気遣う優しい言葉があふれていた。テーマの「看護には健康と未来を変える力がある」の通り、看護の力を伝えることができた。ナイチンゲールに始まった近代看護や多くの先輩看護職のつくった歴史、そして今、支えてくださる方々の中で看護の仕事ができていることを実感したイベントとなった。

今後においても感染対策は重要な課題となりコロナ対応は続くと思われる。オンライン開催も含めイベントの在り方について検討が必要と考える。

5 委員 7 名

(助) 川村晃子

(看) 石井広美 鈴木和美 藤井真理子 磯崎まさ代 渡井裕子 磯谷里佐

(担当理事) 松井順子